

平成 18 年度中学校区小中一貫教育中間報告書

府中市立第三中学校区

平成 18 年 4 月 1 日 ~ 9 月 30 日

1 実践内容等

日 時	場 所	実践内容等	対 象
4 月 12 日(水) 4 月 13 日(木) 5 月 23 日(火) 6 月 13 日(火) 7 月 3 日(月) 9 月 13 日(金) 8:00 ~ 8:30 7 月 21 日(金) 9 月 4 日(月) 16:30 ~	第三中学校 各学校校門付近 校区内の各店舗	第 1 回第三中学校区小中一貫教育推進協議会(組織体制・推進計画等について) あいさつ運動 店交流	・第三中学校区全教職員 ・児童・生徒・保護者教職員 ・教職員・第三中学校周辺の店
4 月 30 日(日) 8:50 ~ 15:30	第三中学校グランド	中学校「体育大会」への校区内全小学校の参加。 明郷、久佐、諸田小学校の低学年児童・高学年児童と、第三中学校生徒との交流(おんぶりレー、二人三脚等)	・三中生徒 ・諸田小学校、明郷小学校、久佐小学校全児童 ・第三中学校区全教職員 ・第三中学校区保護者
8 月 18 日(月) 13:50 ~ 15:40	第三中学校	小学校 6 年生の部活動体験	・校区内全小学校 6 年生
4 月 7 日(金) 5 月 24 日(水) 6 月 14 日(水) 13:50 ~ 14:40 7 月 11 日(火) 15:30 ~ 16:30	第三中学校特別活動室	校区内全家庭へ「日常生活の手引き」の配布 「異年齢交流」(創作活動)の実施 明郷小学校 5 年生と第三中学校 3 年生の交流活動	・第三中学校区保護者・教職員 ・明郷小学校 5 年生・第三中学校 3 年生(教科等外)
7 月 25 日(火) 14:00 ~ 16:45 7 月 31 日(月) 9:30 ~ 12:00 8 月 7 日(月) 14:00 ~ 16:45 8 月 10 日(木) 9:00 ~ 12:00	第三中学校特別活動室 Kultピア明郷	小中合同研修(小中一貫教育推進協議会、教科等指導部会・キャリア・生徒指導部会) ・小中 9 年間を見通した「小中一貫教育指導計画」作成 ・キャリア発達を促すカリキュラム作成 ・家庭学習指標の作成	・第三中学校区小中教職員
4 月 13 日 ~ 9 月 28 日まで 木曜日 6 校時 14:50 ~ 15:35 (15:40)	明郷小学校 久佐小学校 諸田小学校 第三中学校	児童生徒へのピア・サポート訓練の実施 講師 福山大学人間文化学部心理学科教授 松田文子先生 助教授 三宅幹子先生 (学級活動で実施、1 学期中各学校毎に実施計画を立て、福山大学の指導のもとで 10 回実施) ピア・サポート訓練の実施による効果の測定	・明郷小学校 4 年生 ・久佐小学校 5・6 年生 ・諸田小学校全学年 ・第三中学校 1 年生 ・第三中学校区小中教職員
6 月 14 日(水) 15:30 ~ 16:50 6 月 21 日(水) 13:50 ~ 16:40	諸田小学校	小中一貫教育推進協議会(諸田小学校公開授業に係る事前研修) 算数授業研究 第 5 学年「小数の計算のしかたを考えよう」 第 6 学年「分数のたし算とひき算」 講師 広島大学大学院教育学研究科教授 池野 範男 先生	・第三中学校区教職員(教科等指導部会) ・諸田小学校 5・6 年生 ・第三中学校区全教職員

<p>9月13日(水) 15:30~16:50</p> <p>9月20日(水) 13:50~16:40</p>	久佐小学校	<p>小中一貫教育推進協議会 (公開授業に係る小中合同事前研修)</p> <p>英語活動授業研究 「これ何?(文具)」 - Enjoy English -</p> <p>講師 広島大学大学院教育学研究科 教授 池野範男 先生 府中市教育委員会 山手 茂樹 先生 内海 雅文 先生 小川 美樹 先生</p>	<p>・第三中学校区教職員(教科等指導部会)</p> <p>・久佐小学校2年生</p> <p>・第三中学校区全教職員</p>
<p>8月4日(金) 13:50~16:45</p> <p>8月9日(水) 9:00~12:30</p> <p>8月10日(木) 9:00~12:30</p>	クルトピア明郷	<p>第三中学校区小中一貫教育推進協議会 小中合同夏季研修</p> <p>・平成18年度県立教育センターサテライト研修講座 講座名:教育方法「教職員のための伝わる!話し方」講座</p> <p>講師 県立教育センター 指導主事 中野智美 先生</p> <p>・ピア・サポート訓練の実施に係わる成果と課題について</p> <p>福山大学人間文化学部心理学科 教授 松田 文子 先生 助教授 三宅 幹子 先生</p> <p>福山教育事務所 指導主事 高尾 俊寛 先生 府中市教育委員会 教育推進課 専門員 小川 美樹 先生</p> <p>・学力分析 ・1学期の取組みの成果と課題 ・カリキュラム・家庭学習の指標について ・公開研究会について</p>	・第三中学校区全教職員
<p>6月15日(木)</p> <p>6月26日(月)</p> <p>7月7日(金)</p> <p>9月12日(火)</p> <p>9月26日(火)</p> <p>5月15日(月)</p> <p>6月11日(木)</p> <p>6月22日(木)</p> <p>7月11日(火)</p> <p>9月8日(金)</p> <p>9月14日(木)</p> <p>9月26日(火)</p> <p>7月12日(水)</p> <p>9月7日(木)</p> <p>5月25日(木)</p>	<p>明郷小学校</p> <p>第三中学校</p> <p>諸田小学校</p> <p>久佐小学校</p>	<p>「かけ橋の日」 異校種への相互乗り入れによる一日研修</p> <p>・中:HR,授業,掃除,行 事,部活動等の参観・指導</p> <p>・中,小:HR,授業,掃除等の 参観・指導(T・T)の実施</p>	・第三中学校区全教諭
<p>隔週(火)の3校時</p> <p>隔週(水)の3校時</p> <p>隔週(水)の5校時</p> <p>毎週(金)の2校時</p> <p>毎週(金)の3校時</p> <p>毎週(金)の4校時</p> <p>隔週(金)の1校時(2学期)</p> <p>毎週(火)の5校時</p> <p>毎週(火)の6校時</p>	<p>明郷小学校</p> <p>久佐小学校</p> <p>諸田小学校</p>	<p>中学校教諭の小学校兼務による小中T・Tの英語活動</p>	<p>明郷小学校3,4年生</p> <p>明郷小学校5,6年生</p> <p>明郷小学校1,2年生(モジュール)</p> <p>久佐小学校6年生</p> <p>久佐小学校3・4年生(複式授業)</p> <p>久佐小学校5年生</p> <p>久佐小学校1,2年生</p> <p>諸田小学校1,2年生</p> <p>諸田小学校3,4,5,6年生</p>
<p>毎週(月)の3・5校時(1,3学期)</p> <p>毎週(火)の2・3校時(1,3学期)</p> <p>毎週(月)の3・5校時(2学期)</p> <p>毎週(火)の2・3校時(2学期)</p> <p>毎週(木)の3校時(2学期)</p>	第三中学校	<p>中学校教諭の小学校兼職による小中T・Tの小学校音楽の授業</p>	<p>明郷小学校4年生5校時</p> <p>明郷小学校5年生3校時</p> <p>明郷小学校4年生2校時</p> <p>明郷小学校6年生3校時</p> <p>明郷小学校4年生5校時</p> <p>明郷小学校5年生3校時</p> <p>明郷小学校5年生3校時</p> <p>明郷小学校6年生2校時</p> <p>明郷小学校6年生3校時</p>

2 成果

キャリア・生徒指導部会を中心とした取組み

あいさつ運動

- ・相手の顔を見てあいさつをする児童生徒が多くなった。
- ・服装の乱れた児童生徒が一人もいない。
- ・「あいさつの日」の取組みは、校区内全体に広がり、継続性がある取組みになった。
- ・明郷地区青少年育成協議会の協力を得て、挨拶運動を実施している。

店交流

- ・第三中学校周辺にあるお店 4 軒へ明郷小及び第三中の職員と一緒に訪問し、気になることを連絡してもらうようお願いしてまわった。地域での児童生徒の気になる様子が把握でき、小中の担任や生徒指導担当が連携して指導に当たることができた。

体育大会

- ・異年齢集団の交流活動をして、心を通わせ合い、人とのつながりを大切にする等の人間関係の力をはぐくんでいくことや、児童に近い将来の目標や中学生への憧れの気持ちを持たせたり、中学生の自尊感情を高めたりする等の目標を小中で確認しながら取組むことができた。

小学校 6 年生の部活動体験

- ・見学ではなく実際に参加することで、児童の関心を高めることができた。中学生の実技や指導（うまくいなくても優しく教えてもらえた）に感動した児童も多かった。また、「自分にもできそうだ」と自信を持ったり「難しいけどチャレンジしたい」という思いが高まった児童もいた。
- ・小学生に対しては「熱心に参加してくれたので教えがいがあった。」等、肯定的な反応が返ってきた。

異年齢交流

- ・JR 下川辺駅に掲示するポスターなどの制作活動等「一緒に何かを作る」「何かを教える」「教えてもらう活動」を通して楽しく交流することができている。児童生徒への発達段階に応じたかわり方などを学び合うことができている。

「日常生活実践の手引き」

- ・家庭での協力を得ながら、小中の継続した生徒指導を進めていくために「日常生活実践の手引き」を作成し、第三中学校区全体に配布することができた

キャリア発達を促すカリキュラム作成

- ・生徒のキャリア発達を支援するという視点に立った指導の工夫・改善を図ることや、小中学校の指導のつながりを意識して指導を行うことができるようにするため、小中一貫したキャリア発達を促す 4 能力領域それぞれの視点で系統性を持たせたカリキュラムの作成に取り組むことができた。

ピア・サポート訓練

- ・問題解決のための様々な方法について体験的な活動を通して実感的に学び取らせることができた。ピア・サポート訓練は、児童生徒同士の間関係能力を育てる上で有意義な活動である。

教科等指導部会を中心とした取組み

小中合同授業研究

授業の工夫改善に向けた研修になった。

- ・複式授業の、学習リーダーを中心とした進め方等。
- ・子どもの思考過程やつまずき（考え方のどこが同じで、どこが違うのか）を発見しやすく、集団の中でも明らかにしやすいホワイトボードの活用の仕方。

- ・小中のつながりを意識した授業。(指導案に系統図等を入れていくこと等にかかわって取組みの方向性を確認できた。)
 - ・(練り合いを通して)学ぶ授業について。
 - ・授業(導入・展開・板書・学習規律・学習環境等)の評価について。
 - ・表現する力など、校区全体で身に付けさせたい力について。
 - ・間違いから学ぶ授業展開を仕組むこと、かわり合いながら(練り合いを通して)学ぶ授業展開を小中一貫して仕組むことについて。
 - ・英語活動の在り方等について。(小学校低学年から高学年につながる児童の発達段階を意識した授業の在り方や、校区全体の横のつながり等英語活動の在り方、コミュニケーション力の育成、英語嫌いにならない楽しい活動の在り方等の方向性を確認できた。)
- 家庭学習の指標
- ・家庭学習の指標作成に向けた小中合同研修では、小中間で実態や課題の交流ができ、指導の方向性を確認していくことができた。

その他

小中合同研修(夏季研修等)

- ・校区内全ての小中教職員による合同研修は、9年間の連続性のある教育を共通の認識のもと、同一方向で展開していくうえで意義ある活動となっている。
(家庭学習や生徒指導上の課題について、小中教職員の考え方、取り組み方の違いなど交流でき、学校の文化、風土などの違いを理解し克服していこうとすることができている。また、児童生徒の発達段階に応じた組織的・系統的な指導内容や指導方法などについて共通の認識で取り組むことができ、改善の方向に向かっている。)
 - ・教職員の指導力向上のために大学の先生、指導主事、専門家を招聘して実施した研修によって、日々の実践を振り返り、指導の方向性を確認することができた。
「かけ橋の日」
 - ・小中のより細かな連携ができることで、生徒指導等にいかすことができた。
 - ・普段の児童生徒の様子を知ることが出た。
 - ・廊下ですれちがうときの気持ちのよいあいさつ、学習規律の徹底等、各学校で重点目標を挙げ、学校体制として取り組んでいくことによって、成果として表れていることが参考になった。
 - ・児童一人一人に目が行き届き、授業の準備ができているところや、細かな指導をされていること、少人数指導での授業の工夫、自主活動を仕組んでいること等参考になった。
- 兼職
- ・教師の専門性を活かした指導ができる。
 - ・小中学校の違いを知ることができる。(発達・指導の仕方とその背景等)
 - ・小学校児童から中学校生徒へと継続してかわり、児童から生徒への成長を継続的に支援できる。

3 課題

あいさつ運動

- ・ヘルメットを被っているが、あごひもをきちんとしていない生徒がいる。自転車通学では、車道を通る生徒がおり、継続的に指導をしていく必要がある。
- ・大きな声であいさつができる生徒も多いが、「恥ずかしそうに下を向いてあいさつをする。相手の顔を見ない。声が小さくて相手に聞こえない。」などの児童生徒もおり、引き続き指導が必要である。
- ・行き帰りの途中で地域の人にあいさつができていない児童生徒がおり、引き続き指導が必要

である。

店交流

- ・今後も定期的な巡回指導を実施し、地域での児童生徒の様子を細かく把握し、指導に生かす。
- #### 体育大会
- ・小中の合同練習の実施や、打ち合わせのために担当者が集まることができにくい状況がある。競技に参加する児童生徒の並び方・集合の仕方等にかかわって事前の連携を十分に行う必要がある。
 - ・客観的なデータをとり、取組みを評価していく。
- #### 小学校6年生の部活動体験
- ・小学生を受け入れる側の、中学校の準備を充実させ、児童生徒の自尊感情や自己効力感が高まるように活動を充実させる。

異年齢交流

- ・「自尊感情」の高まりについて、客観的なデータをとり評価をしていく。
 - ・一定期間の連続した計画にしていく。
- #### 「日常生活実践の手引き」
- ・第三中学校区小中継続指導項目に沿って小中連携をしていく。
- #### キャリア発達を促すカリキュラム作成
- ・キャリア発達にかかわる諸能力についての理解をさらに深め、各教科等における指導とキャリア教育との関連を意識し、生徒のキャリア発達を支援するという視点に立った指導の工夫・改善を図る。

ピア・サポート訓練

- ・児童生徒が身に付けた力を生かすための場を意識的に設定する。「誰かの役に立った」「問題を解決できた」等、実感を持って学ばせ、自尊感情が高まるようにする。そのために、ピア・サポートの精神（同僚性）を広げていく。

小中合同授業研究

- ・授業評価表の活用等にかかわって、校区内で統一していく。
- ・表現する力を身に付けさせるための具体的な取組みと評価方法について今後も研究を深める。
- ・授業研究の事前研修では、直前になって中学校の参加体制に変更があった。日程調整は難しいので、変更がある場合はなるべく早く調整をする。

家庭学習の指標

- ・家庭学習の習慣を身に付けさせていくために、作成した指標をもとに、小中間で児童生徒実態を交流し、指導に生かしていく。

その他

小中合同研修（夏季研修等）

- ・生徒指導に係わる小中連携の課題等、お互いに言いにくいところを指摘し合って、改善していく。
- #### 「かけ橋の日」
- ・変更はなるべく早く受入校との連絡調整をする。

兼職

- ・前の時間にトラブルがあったりする等、児童生徒の状況を把握できないまま授業を始めることになる。細かな情報交換をしていく。
- ・英語活動教材の開発・整備・活用。

研究組織

- ・児童生徒に身に付けさせたい力について、評価等検討委員会で調査項目を早めに設定し、アンケートを実施する。
- ・研究組織が円滑に機能するように、今年度の研究組織の活動内容を来年度の活動に生かす。